

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1194））
2. 日時：平成30年8月15日 17時00分～17時08分
3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 担当

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ V-1-10-1 設計及び工事に係る品質管理の方法等
- ・ V-1-10-9 本工事計画に係る設計の実績、工事及び検査の計画 非常用電源設備
- ・ V-2-11-2-17 原子炉建屋外側ブローアウトパネル竜巻防護対策施設の耐震性についての計算書
- ・ 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-140-8【基本設計方針から工認添付説明書および様式-1への展開表（その他附属施設非常用電源設備）】
- ・ V-2-8-3-1-3 中央制御室換気系フィルタユニットの耐震性についての計算書
- ・ V-2-5-7-1-2 残留熱除去系海水系ストレナの耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-10 代替循環冷却系原子炉注水流量の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-23 原子炉水位（SA広帯域）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-2-8 非常用ディーゼル発電機用海水ストレナの耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-3-7 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ストレナの耐震性に

ついでに計算書

- ・ V-2-6-5-6 低圧代替注水系原子炉注水流量（常設ライン用）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-7 低圧代替注水系原子炉注水流量（常設ライン狭帯域用）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-8 低圧代替注水系原子炉注水流量（可搬ライン用）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-9 低圧代替注水系原子炉注水流量（可搬ライン狭帯域用）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-38 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量（可搬ライン用）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-39 低圧代替注水系格納容器下部注水流量の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-25 ドライウェル圧力の耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-2-7 非常用ディーゼル発電機用海水ポンプの耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-3-6 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用海水ポンプの耐震性についての計算書
- ・ V-2-9-5-1-3 非常用ガス再循環系フィルタトレインの耐震性についての計算書
- ・ V-2-9-5-2-3 非常用ガス処理系フィルタトレインの耐震性についての計算書
- ・ V-2-5-7-1-1 残留熱除去系海水系ポンプの耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-40 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-41 サプレッション・プール水位の耐震性についての計算書
- ・ V-2-6-5-26 サプレッション・チェンバ圧力の耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-2-1 非常用ディーゼル発電装置の耐震性についての計算書
- ・ V-2-10-1-3-1 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電装置の耐震性についての計算書
- ・ V-2-9-5-2-4 ブローアウトパネル閉止装置の耐震性についての計算書